

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 11 日作成)

小委員会名	防火基準モデルコード小委員会防火委員会		主 査 名：萩原一郎 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会		委員長名：原田和典 主 査 名：
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2026 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>法令は最低限の基準であり、過去の大きな災害の経験を踏まえて規制が強化されてきた一方、社会の要請や技術開発の成果を踏まえて規制が緩和されてきた。火災安全設計として、現行法令に関わらず火災安全を確保するため、防火技術者として必要と考える防火基準を作成する。先ず、構造耐火、避難安全、消防活動支援の3つについて、具体的な基準案をとりまとめる。</p> <p>初年度：構造耐火、避難安全、消防活動支援の分野における防火基準案を、高層木造建築物を対象としたケーススタディを通じて検討する。また、各小委員会に対して、現行の防火基準に対する改正の要望や、整備が必要な課題について調査を行う。</p> <p>2 年度：拡大研究会を開催し、避難安全に関する検討成果を提示する。</p> <p>3 年度：拡大研究会を開催し、構造耐火及び消防活動支援に関する検討成果を提示する。</p> <p>4 年度：大会の研究協議会などにおいて、成果を公表する。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	主査：萩原一郎 (東京理科大学) 幹事：土屋伸一 (明野設備研究所) 委員：秋月有紀 (富山大学)、河合邦治 (JR 東海コンサルタンツ)、佐野友紀 (早稲田大学)、鈴木恵子 (消防研究センター)、谷 篤子 (フリー)、成瀬友宏 (建築研究所)、樋本圭佑 (国土技術政策総合研究所)、森山修治 (日本大学)、山口純一 (大林組)、山下平祐 (清水建設)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2023 年度予算	160,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 構造耐火、避難安全、消防活動の支援について、それぞれ基準の内容について検討を進めたが、進捗は当初の 50%程度で遅れている。 2. 委員以外を含めた幅広い議論を行うため、避難安全の基準について拡大研究会を実施した。活動内容を対外的に PR する機会にもなった。
委員会活動の問題点・課題	オンライン会議は特に遠方の委員の参加を容易にしたが、充実した議論を行うためには工夫が必要である。